

国際交流

2010韓国企業先進技術国際フェア及び台韓ビジネス交流会

南科管理局は4月16日、アジア科学園区協会(ASPA)、經濟部中小企業局南科育成センター、南台湾創新園区と共同で「韓国企業先進技術国際フェア及び台韓ビジネス交流会」を開催しました。台韓ビジネスの商機拡大につながる試みとして参加企業からの評判も上々でした。

アジア科学園区協会事務局の南泳浩局長を団長とする韓国側訪問団には亀尾、城西、梧倉、昌原の各工業団地に入居する機械、金属、電気・電子メーカーなど18社が参加しており、南科育成センターで台湾メーカー十数社を相手に製品紹介や商談を行いました。双方の企業代表が直接会って話し合えば商機も生まれるもので、この交流会をきっかけに韓国側4社との間に18件、390万ドル相当の提携成立が見込まれています。

2010 IASP総会に参加、グリーン科学園区への取り組みを発表

南科管理局は5月23日から26日までに2010国際科学園区協会(IASP)第27回世界総会に出席しました。この会議で発表した「持続可能経営—グリーン科学園区への道：南部科学工業園区を例として」講演は各国の出席者から高く評価され、グリーン科学園区の実現へ向けた南科の経験を披露することで台湾の科学技術のソフトパワーを示すことができました。



▼IASP韓国総会にて(2010.5.23)

Business Meeting ASIA 2010

Taiwan-Korea Business Matching Event

韓國企業先進技術國際展暨台韓商務交流會

Date
April 16, 2010
Venue
The SME Incubator
at Tainan Science Park



▼台韓ビジネス交流会にて(2010.4.16)

Techno Park, Republic of Korea & Southern Taiwan Science Park, Taiwan
MOU Signing Ceremony
大田科技园與台灣南部科學工業園合作備忘錄簽署



▼提携覚書の調印式にて(左から大田テクノパーク・李鎮玉院長、韓国大田市長・連弘喆、南科管理局局長・陳俊偉)(2010.8.31)



▼景岳生技会社が2010 ASPA Awards傑出獎を受賞(2010.11.24)



▼Lukman Hakim博士(左から三人目)率いるインドネシア科学院の一行と南台科技大学の来賓が南科を訪問(2010.7.9)

韓国大田テクノパークと提携の覚書を締結

海外の関連組織との間に提携・交流のプラットフォームを設け、南科の国際的な知名度を高めようと、南科管理局は8月31日、韓国の大田テクノパークと提携の覚書を締結しました。陳俊偉局長と大田テクノパークの李鎮玉院長との間で調印された提携の覚書には、ビジネスや技術、園区管理などの分野での交流を深めて互恵的な友好関係を確立し、ハイテク産業の発展を促すことが謳われています。

2010年ASPA総会に参加

南科管理局は11月24日から26日までオーストラリアで開催された2010年IASPアジア分会及びASPA合同総会に出席し、金属工業研究開発センターと成功大学の共同論文「投資促進のためのイノベーションプラットフォーム—高雄科学園区における医療器材産業集積を例として」「高雄園区医療器材特区の政策形成過程」を発表しました。また、入居企業の一つである景岳生物科技会社がASPA主催の2010 ASPA Awardsに台湾代表として参加し、「エクセレント賞」受賞の榮譽に輝きました。

外国要人の南科訪問、実力を表す、南科を積極アピール

2010年に南科管理局が受け入れた海外からの訪問団は計92団体、訪問者数にしてのべ1173人にのぼり、APECビジネス諮問委員会の取材で来台した外国報道関係者21名、インド台北協会のPradeep Kumar Rawat会長、インドネシア科学院主任委員のLukman Hakim博士など海外の要人も多数南科を訪れています。管理局では、海外からの大事なお客さまに南科の発展の現状について知ってもらい、台湾の科学技術の実力を積極的にアピールしています。